

Press Release:2011.7.29

PARC_美術・芸術系大学サポートプログラム

【欲情ポップコーン】

京都造形芸術大学空間演出デザイン学科プロダクトデザインコース4回生作品展

2011年8月23日(火) — 9月4日(日) 11:00~19:00 ※月曜休・最終日18:00まで

主催:京都造形芸術大学 協力:ギャラリー・パルク



草木佳大・田村陽介 「籠 CAR-GO」 *イメージCG画像



永来愛子 「oxidize」 *イメージ画像

金属が酸化した様子を美しくみせたい。
人によって使用条件が違う靴を選んだ。
履いている間に金属が酸化していく靴。

ご案内

Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]では、京都の文化・創造活動の更なる活性化への支援のひとつとして、芸術系大学への会場提供によって、協働・協力による展覧会やイベントを開催する「PARC_美術・芸術系大学サポートプログラム」に取り組んでおります。パルクでの発表が、実験的で未知数なクリエイションと社会との接点として、若いクリエイターの皆さんが自身の表現をより深める機会となればとを考えます。

本展「欲情ポップコーン」は、京都造形芸術大学 空間演出デザイン学科 プロダクトデザインコース4回生に在籍する、17名の学生による展覧会です。

私たちの生活の中にあって、自動車やバイク、家具や家電、生活雑貨にいたるまで、道具と人との接点として「そのより良い関係」を模索するプロダクトデザイン。同時代からのニーズに応えるとともに、新たな思考や提案によって、次の時代への流れをつくりだすプロダクトデザインの諸相には、現在とこれからの私たちの暮らしや社会を伺い知ることができると言えます。

本展では、京都造形芸術大学において専門的にプロダクトデザインに取り組む学生による、家具・ファッション・食・工業製品など、多様な分野におよぶ様々なアイデアや試作を、資料などを交えて展示いたします。現在とこれからを見つめる若い感性から、新たな創造・提案が生まれ、洗練されていくプロセスの一端をお楽しみいただけるのではないのでしょうか。

本展の周知にご協力くださいますようお願いいたします。

※本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、Gallery PARC[galleryparc@grandmarble.com]迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 欲情ポップコーン

出品作家 京都造形芸術大学 空間演出デザイン学科 プロダクトデザインコース4回生17人

永来 愛子、奥村 香、金 寿貞、草木 佳大、田村 陽介、佐々木 雅也、曹 美姫、田中 春菜、戸田 寛子、中野 由希子、中村 友紀、茗荷 森音、矢野 由希、ゴーちゃん・パッターボン、廣田 歩、中田 名津美、見島 弘将

【主 催】 京都造形芸術大学 【協 力】 ギャラリー・パルク

会 期 2011年8月23日(火) — 9月4日(日) 11:00~19:00 月曜休廊・最終日18:00まで

関 連 「オープニングパーティー」 2011年8月23日(火) 17:00~

会 場 Gallery PARC(グランマーブル ギャラリー・パルク)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ]2階

【Tel & Fax】 075-231-0706 【Mail】 galleryparc@grandmarble.com 【HP】 http://www.grandmarble.com/parc/

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分

Press Release:2011.7.29

【「欲情ポップコーン」開催趣旨】



展覧会DM

靴をはいているから足が痛くない
お昼ご飯はおいしかった
今日は勝負スカートをはいている

世界にはものがあふれている
わたしたちは満たされている

でも もっと欲しい
それは すごく贅沢でわがまま

だけど 求めないと 見つけないと
世界はそのまま 変わらない

世界のためじゃないけれど
自分のためかもしれないけど

はじけるように 求めてみる
見つからないなら つくれればいいよ

本展は京都造形大学空間演出デザイン学科プロダクトデザインコース4回生17人によるグループ展です。

私たちはプロダクトデザインを通して人の生活を豊かにする方法を考えてきました。

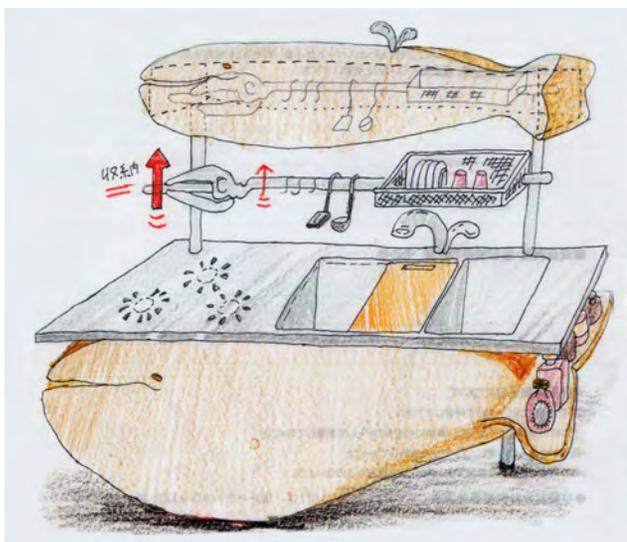
それは自分が日常の中で感じたこと・見つけたことから発想しています。

この展覧会では、17人それぞれが心に秘めた理想や欲求の種をポップコーンのように、アイデア・デザインとして提案します。

出展者一同

(永来 愛子、奥村 香、金 寿貞、草木 佳大、田村 陽介、佐々木 雅也、曹 美姫、田中 春菜、戸田 寛子、中野 由希子、中村 友紀、茗荷 森音、矢野 由希、ゴーチャン・パッターポン、廣田 歩、中田 名津美、見島 弘将)

【参考画像】



中村友紀 「くじらのキッチン」 *スケッチ画像

家庭の中で、家族が共同作業できるキッチンという場所に焦点をあてキッチンを作り心地良いものにしたと考えた。
親子寄り添って泳ぐくじらをモチーフに、蛇口をくじらの噴水に模したかたちにした。
中央のバーをくじらの骨に見立てたりして子供が興味をもつようにした。



見島弘将 「01」 *スケッチ画像

移動できる服屋さん
電車に乗る最大のサイズにまとめられて、その場所に行ったときに展開できる。